

議員提出第9号議案

パレスチナ地域における人道支援に関する決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和5年12月12日

提出者

成相安信	福田正明	五百川純寿
絲原徳康	大屋俊弘	中村芳信
園山繁	尾村利成	白石恵子
角智子	中島謙二	池田一
須山隆	山根成二	生越俊一
岩田浩岳	高橋雅彦	吉田雅紀
吉野和彦	嘉本祐一	田中明美
大国陽介	内藤芳秀	多々納剛人
福井竜夫	原拓也	坪内涼二
久城恵治	岸道三	岡本淳
野津直嗣	岡崎綾子	出川桃子
河内大輔	森山裕介	中村絢

(別紙)

パレスチナ地域における人道支援に関する決議

去る 2023 年 10 月 7 日、ハマス等武装勢力がガザ地区からイスラエルに向けて多数のロケット弾を発射し、イスラエル領内に越境攻撃を行い、多数の死傷者が発生し、罪のない一般市民に多大な被害が発生した。さらに、一般市民を含む多数の方々がハマス等武装勢力により誘拐され、いまだ多くの人質が解放されていない。

イスラエルは、これらの攻撃に対して、ガザ地区への空爆や電力、燃料、物資等を封鎖し、さらには同地区への侵攻を開始した。多くの子どもも犠牲となる深刻な人道危機が発生している。

いかなる理由があろうとも、すべての紛争当事者は国際人道法を厳守すべきである。

国連緊急特別総会は、10 月 27 日に「人道的休戦」を求める決議を賛成 121 カ国で採択し、安全保障理事会は、11 月 15 日に「人道的休止」を求める決議を採択したが、採択後、11 月 24 日から 11 月 30 日までの 7 日間は休止されたものの戦闘が再開され、現在も続いている。

こうしたことから、島根県議会は、ハマス等武装勢力及びイスラエルの双方において、国際人道法を始めとする国際法を順守し、パレスチナ地域での人道危機が速やかに解消され、紛争が終結することを訴える。

また、政府においては、パレスチナ地域での人道支援が早期に実現されるよう、国際社会に働きかけるよう求める。

以上、決議する。

令和 5 年 12 月 12 日

島根県議会

【令和 5 年 12 月 12 日原案可決】